

子どもたちに「生きる喜び」を感じてもらいたいと思っています

中学、高校、短大と金城学院で学び、学院の教えを体得している加藤千夏先生。いつも明るく元気で、子どもたちに大人気。保護者の皆さんの信頼も厚いベテラン先生です。そんな先生が子どもたちと接するときに心がけていらっしゃることはどんなことなのでしょう。千夏先生をクローズアップしました。



金城学院幼稚園
加藤千夏^{ちか} 教諭

- 金城学院大学短期大学部保育科卒業
- 短期大学卒業後、金城学院幼稚園に着任
- 日本キリスト教団名古屋中央教会会員

純粋な気持ちを思い出した 子どもたちとの対話

私は、中学で金城学院に入学して以降、ずっと金城学院に育てられて今があると思います。中学でキリスト教に会い、「教会に行きなさい」と教えていただき、いろいろな教会を訪れながら、今の名古屋中央教会へ通うようになりました。その教会学校でヘルパーとして子どもたちに接するようになったのが、幼児教育に興味を持ったきっかけです。

教会学校には、幼児から中学生まで多くの子どもたちが来ていました。その子たちのお手伝いをするのがへ

ルパーの役目。そこで子どもと接することは楽しいことなんだな、と感じたのです。そんな経験があったため、大学に進むときに「保育の仕事がしたい」と思い保育科に進みました。

その道を決定的にしたのは、金城学院幼稚園での教育実習。そのときの体験は忘れられません。実習前は、子どもたちに「教えてあげなければ」という気持ちが強かったのですが、実際にふれあっていくうちに、私のほうが子どもたちからいろいろなことを教えられました。忘れかけていた純粋な気持ちを思い出させてくれたのです。

そして、まだクリスチャンではな

かった私にとって、神様を信じるために必要だったのが、子どもたちとの対話だったのだと思います。子どもたちは、目に見えないものを信じる力を持っていると思います。それは子どもたちが純粋だからこそ。大人になると、見えないものが本当は大切なのだということを忘れてしまいがちです。子どもとふれあっていると、自分も自然に目に見えない力を信じられるようになったのです。

子どもに寄り添い 自然体でいたい

子どもと接するとき大切にしていることは、「そばに寄り添うこと」。何もしてあげられなくても、子どものかたわらにいてお互いが安心し、一緒に喜んだり、泣いたりすることができる人でありたい。嬉しいときも悔しいときも、その気持ちを共有できるようにしたいと思うのです。しかし、気持ちをストレートに表すことは違うということを知るのは必要です。気持ちを汲み取ってあげながら、



遊ぶときも子どもと一緒に楽しみます

大切なことを伝えていく。難しいですね。また、子どもは言葉ではうまく表現できないので、そばで見守っているながら気付いてあげることが大切だと思っています。何が言いたいのか、どんな気持ちなのか。これもまた難しいですね。

さらに「子どもと一緒に自然体でいること」も大切にしています。子どもは純粹で、目に見えないものを感じ取る力があるので、自分をとりつくろってしまったら、子どもたちにはその気持ちが伝わってしまいます。歌を歌うときも、子どもと遊ぶときも、自分が楽しむことで子どもも心から楽しむことができると思うのです。だから、楽しいときには思



接するとき子どもたちと同じ目線で

いっきり私も楽しむ。どんなときも生き生きと私らしく、自然体でいたいと思うのです。

愛に満ちた幼稚園で ありたい

保護者の皆さんには、幼稚園の教育を理解していただいて、感謝しています。私も子育てをしているので「母親の先輩」としてもアドバイスができればいいなと思います。お母さんたちにも生き生きと、自信を持って子どもと接してもらいたいですね。でも、誰もが子育てには悩みますか

ら、保育者、保護者の皆さん、そして子どもたち、みんなで関わりあいながら、共に育っていかれたらと思っています。みんなにとって「愛」に満ちた幼稚園でありたいですね。

神様は一人ひとり違う命を授けてくださっています。だから私も一人ひとりを大切にする、愛する気持ちを忘れずにいたい。ですから、子どもたちに愛すること、愛されることを覚えてもらいたい、「生きる喜び」を感じてもらいたいと強く願っています。それが人として生きていくための基本となるはずですから。



降園時には保護者との対話も

千夏先生はこんな人



私たち親も、子どもと丁寧に接して下さる千夏先生が大好きです。子どもだけでなく、私たち一人ひとりにも声をかけてくださるので、目を向けていただいていることが伝わってきます。先生は、駄目なことは駄目だとしっかり注意し、その説明もしてく下さるので、安心してお任せできます。育児についての相談にもものってください、頼りになるアドバイスをいただけるので、感謝しています。

中学生の頃からグリークラブでご活躍している先生は、歌がとっても上手。だから子どもたちも歌が好きになるみたいです。

一人ひとりを大切に「きょうなら」